

# 令和元年度地方創生関係交付金

事業実施評価

令和3年3月 むつ市

## ■市内部評価凡例

### <事業効果>

①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組として前進・改善したとは言い難いような場合

### <今後の方針：地方創生関係交付金事業計画期間が継続するもの>

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等変更発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

### <今後の方針：地方創生関係交付金事業計画期間が終了したもの>

①	事業内容を変更せずに継続する（地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む）
②	事業を拡大して継続する（地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む）
③	事業の一部を継続する（地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む）
④	事業を終了する
⑤	未定

地方創生推進交付金事業に係る事業実施評価表（R1実施事業）

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	実績額 (交付金額)	重要業績評価指標（KPI）			内部評価		外部評価	
					指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	事業効果（※1）	主な意見（※2）
1	下北ジオパークによる観光地域づくり（しもきたDMO）推進事業	別々に事業を進めている観光振興策とジオパーク活動を一体的な取組とすることで、ジオパークを核とした地域連携DMOの登録を目指し、交流人口、活動人口の拡大を実現することで、地域経済の活性化及び雇用の増加へとつなげ、将来にわたって活力ある持続可能な地域社会の形成に取り組む。	①TAB I あしすと負担金 ・DMO推進事業、運営事務費、下北観光プロモーション事業、広域パンフレット作成事業、リゾートあすなろ誘客宣伝推進事業、ポータルサイト運営事業、ジオパークツアー造成事業 ②下北ジオパーク推進協議会負担金 ・運営事務費、JGN加盟関連事業、ジオパーク理解促進事業、教育・研究・保全活動等関連事業、ジオパークプロモーション事業 ③アウトリーチ活動展開事業 ・ジオパーク推進員報酬費用弁償、各種旅費、消耗品費	31,719,821円 (15,859,000円)	年間観光入込客数 (6市町村)	1,745,445人	1,786,142人	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続 (計画通りに事業を継続する) <計画継続>	①地方創生に非常に効果的であった	・ジオなどはコストはかかるかもしれないが、世界を見据えて欲しい。 ・市内部評価が甘いのではないか。
					ジオパーク認知度	70.0%	93.57%				
					着地型旅行商品 ツアー実施回数	40回	35回				
2	<陸・海・空>むつうまブランドによる「稼げろ」農林水産業	むつ市のご当地グルメとして誕生した自衛隊グルメの更なるブランド化や市農林水産物の商品開発や生産向上を図り、この地域特産品を下北5市町村が連携する協議会で実施する事業等を通じ、首都圏や海外へ販路を広げることを目的とする。	①地域特産品活用促進事業 ・大湊海軍コロッケ販売戦略事業 ・大湊海自カレー普及促進事業 ・大湊Sora空っ！普及事業 ・夏秋イチゴ活用支援事業 ・ペこもち&デコもちプロモーション事業 ②むつ市産にんにくブランドカアップ事業 ・にんにくブランドカアップ事業補助金 ③下北圏域地場産品販路拡大事業 ・むつ市・下北圏域地場産品販路拡大事業実行委員会負担金 ・各種商談会参加経費 ④大畑漁港朝市開催事業 ・実行委員会負担金 ・先進地視察経費	8,861,324円 (4,430,000円)	人口一人当たりの 市民所得の向上	2,286千円	2,265千円	①地方創生に非常に効果的であった	②事業の発展 (事業が効果的であったことから取組の追加等変更に発展させる) <計画継続>	②地方創生に相当程度効果があった	・カレーなどの成功した商材を伸ばすことがあれば改善できる可能性がある。 ・市内部評価が甘いのではないか。
					一次産業の 生産額	3,711百万円	4,751百万円				
					一次産業 就業者数	1,673人	1,677人				
3	大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業	人材育成及び創業支援による地域活性化の施策を推進するために、日本の学力及びスポーツ先端科学並びに起業・ベンチャーのノウハウの提供を受けながら地域の将来を担う人材を育成する。	①下北Project（学びのイノベーション）事業 ・まさかり高校後援会負担金 ②Uターン就職等推進事業 ・Uターン就職等セミナー開催事業 ③新規高卒者市内定着事業 ・市内企業のガイドブック作成事業 ・高校生企業見学事業 ④創業支援事業 ・創業支援関連セミナー開催事業	20,379,487円 (10,188,000円)	若年層（18～39歳） による創業・起業 件数	7件	7件	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続 (計画通りに事業を継続する) <計画継続>	②地方創生に相当程度効果があった	・特になし
					転入者数	2,150人	2,086人				
					滞在型指導者 (大学生等)の 受入数	60人	80人				

※1 外部評価の事業効果については、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」委員の皆様からいただいた評価・意見を集計し決定。

※2 質疑は除く。

地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施評価表（H28補正（H29実施事業））

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	実績額 (交付金額)	重要業績評価指標（KPI）			内部評価		外部評価	
					指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	事業効果（※1）	主な意見（※2）
1	脇野沢コミュニティセンター（銭湯）を核にした脇野沢小さな拠点整備事業	地域住民による地域デザインを策定し、それに基づき、地域住民自らが主体となった地域運営組織（現：わきのさわ湯好会）の活動拠点及び脇野沢地域の資源を活用した体験交流拠点として、遊休公共施設を「（仮称）脇野沢コミュニティセンター（銭湯）」（現：むつ市コミュニティセンター脇野沢温泉）へと整備することで、地域住民が自らの活動により、しごと・収入を確保するサイクルを創り出す。	①体験交流拠点エリア整備事業 ②コミュニティセンターエリア整備事業 ③体験型ビジネスづくり事業 ・備品購入 ④地域産型学習プログラム ・ガラスハウス修繕	89,056,000円 (44,472,000円)	地域拠点施設 利用者数	5,000人	8,449人	－ (地方創生拠点整備 交付金活用計画期 間を終了している ため)	－ (地方創生拠点整備 交付金活用計画期 間を終了している ため)	②地方創生に相当 程度効果があっ た	・特になし
					地域運営組織への 関与住民数	20人	24人				
					地域運営組織の 事業収入額	600千円	453千円				

※1 外部評価の事業効果については、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」委員の皆様からいただいた評価・意見を集計し決定

※2 質疑は除く。

地方創生応援税制活用事業に係る事業実施評価表（R1実施事業）

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	実績額 (寄附充当額)	重要業績評価指標（KPI）			内部評価		外部評価	
					指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	事業効果（※）	主な意見
1	次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト	弘前大学及び青森中央学院大学と共同で設置した「むつサテライトキャンパス」を活用した市内における教育機会の充実や、原子力関連施設が集積している下北地域の特性にマッチした資格取得、そして、医師不足という地域課題に対応した、将来の地域医療を担う若者への支援を行う。これらの事業を一体的に展開することで、本市の未来に必要な人財へと育成し、地元就職、地元定着へとつなげ、人口減少に歯止めをかけるとともに、持続可能な地域づくりを目指す。	①フィールドを活かした地域人財育成事業 ・むつサテライトキャンパス事業 ②地域にマッチした産業人財育成事業 ・地域企業連携強化事業 ③医師を目指す未来人財育成事業 ・未来人財育成奨学金プロジェクト	4,218,000円 (600,000円)	本事業を通じた市内への就職者数	10人	7人	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する） <計画継続>	②地方創生に相当程度効果があった	・人財育成プロジェクトについては、長期的な取り組みの中での体験・経験を通じていく結果は伴ってくるものと思っておりますので事業継続に期待しています。 コロナ禍での事業展開で様々な制約はありますが、各事業の実現へ向けできる限りの協力をしていきたいと考えております。
					第2種放射線取扱主任者高校生合格率	4人	1人				
					市内高等学校からの医学部入学者数	3人	0人				
2	子どもの笑顔がやくムチュらんどプロジェクト	運営を開始した本市の子育て拠点施設「ムチュらんど」において、子ども遊び場、親子のふれあい及び子育て情報交換の場として、機能の充実を図るとともに、経験豊富なシニア世代にボランティアとして活動してもらうことで、子どもと多世代の触れ合いを創出し、世代間の理解を深め、子育てに対する不安の解消を図るなど、地域の交流の場を設け、地域が一体となって子育てを支える環境づくりを推進する。	①ムチュらんど運営事業 ・賞金、備品購入、その他経費	8,538,000円 (400,000円)	出生数	400人	1310人	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する） <計画継続>	②地方創生に相当程度効果があった	・企業版ふるさと納税の事業は少し時間をかけて、対象者からどのような支援がより効果的なのか意見吸収し改善していければ良いかと思う。
					ムチュらんど利用者数	28,900人	26,299人				

※1 外部評価の事業効果については、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」委員の皆様からいただいた評価・意見を集計し決定

※2 質疑は除く

むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 委員評価結果 (R1事業)

事業名			内部評価	外部評価	外部評価集計欄							
					①非常に効果的であった		②相当程度効果があった		③効果があった		④効果がなかった	
地方創生推進交付金	1	下北ジオパークによる観光地域づくり（しもきたDMO）推進事業	①	①	7	70.0%	1	10.0%	2	20.0%	0	0.0%
	2	<陸・海・空>むつうまブランドによる「稼げる」農林水産業	①	②	3	33.3%	5	55.6%	1	11.1%	0	0.0%
	3	大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業	②	②	4	40.0%	4	40.0%	2	20.0%	0	0.0%
地方創生拠点整備交付金	1	脇野沢コミュニティセンター（銭湯）を核にした脇野沢小さな拠点整備事業	-	②	2	20.0%	7	70.0%	1	10.0%	0	0.0%
地方創生支援税	1	次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト	②	②	0	0.0%	5	50.0%	4	40.0%	1	10.0%
	2	子どもの笑顔かがやくムチュらんどプロジェクト	②	②	0	0.0%	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%